

県の予算

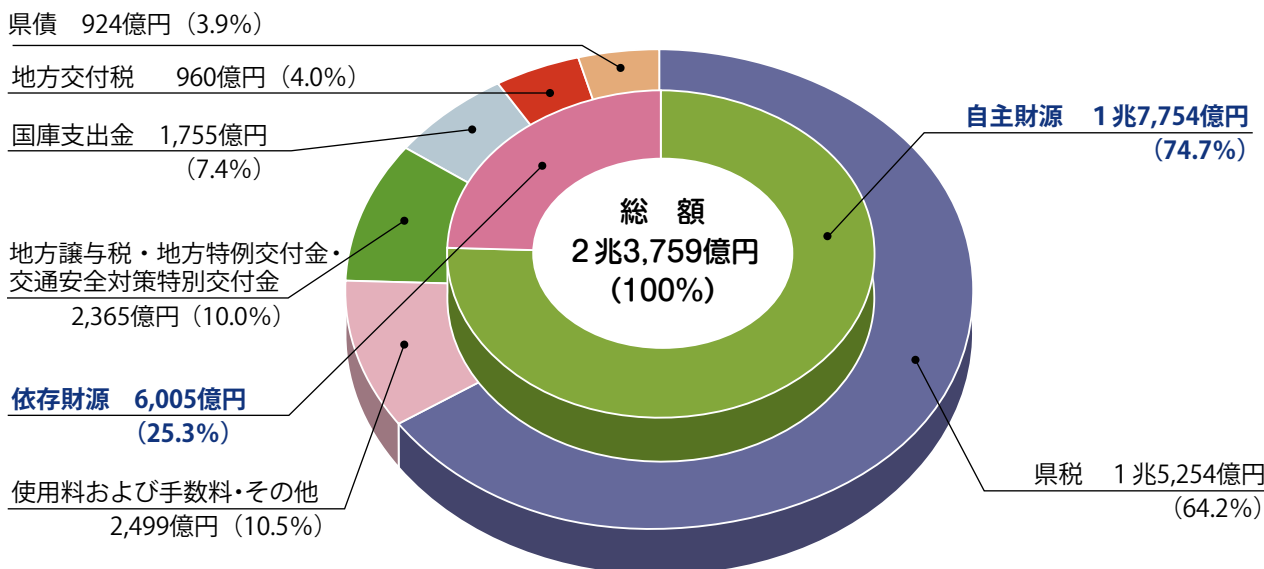
令和8年度は、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けた予算として編成しました。

令和8年度当初予算

区 分	予算額	主な仕事
一般会計	2兆3,759億円	教育、警察、福祉、土木建築など県政一般のもの
特別会計	2兆3,277億円	水源環境保全・再生事業、市町村自治振興事業など
企業会計	1,710億円	水道、電気事業など
総 額	4兆8,747億円	

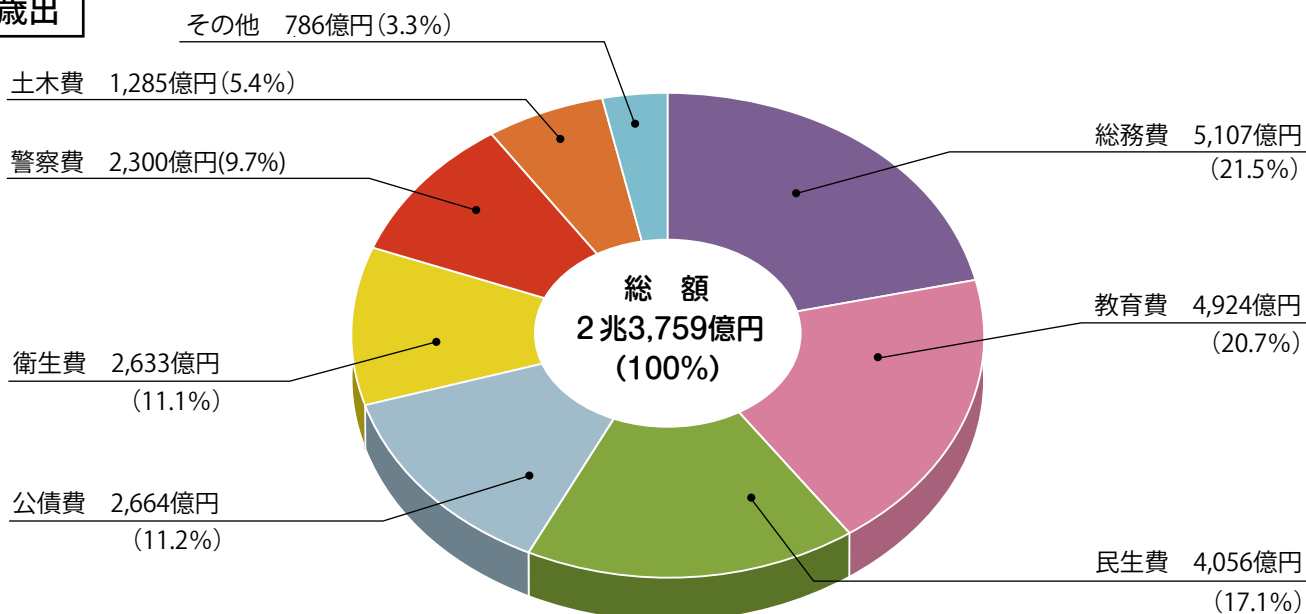
一般会計予算の内訳

歳入



備考 億円未満切捨てのため、総額とは一致しません。

歳出



備考 億円未満切捨てのため、総額とは一致しません。

令和8年度 当初予算における9の重点事業

子どもが健やかに育つ社会環境を整備するため、子ども・子育て支援の推進を図るほか、県内経済・産業の活性化のため、日産自動車生産縮小等への対応や、宇宙関連産業の振興等に取り組みます。

また、共生社会の実現に向け、地方独立行政法人神奈川県立福祉機構の設立等に取り組むほか、「災害に強いかながわ」の実現に向け、新たな神奈川県水防災戦略等に基づき、災害対策を推進します。

さらに、令和9年開催の GREEN×EXPO 2027 に向けた取組を着実に進めるとともに、これを契機とした観光振興を推進します。

こうした取組を進めるに当たり、引き続き、デジタルの力を活用していくことで、県民の抱える不安を解消し、誰もが安心して暮らせるやさしい社会の実現を目指します。

重点1

子ども・子育てへの支援

- 子ども・子育て支援の推進、支援を必要とする子ども・家庭への取組

重点2

教育の質の確保と学びの充実

- 変化の激しい社会に適応できる人材の育成、教員の働き方改革の加速化、共生社会の実現に向けた教育等の推進、誰一人取り残されない学びの保障、県立教育施設整備の推進

重点3

未病改善の取組および医療・介護施策の推進

- 未病改善の取組、ヘルスケア・ニューフロンティアの推進、医療施策の推進、介護・高齢者支援施策の推進

重点4

行ってみたい神奈川の魅力づくり

- GREEN×EXPO 2027に向けた取組、文化芸術施策の展開促進、スポーツの持つ力を活かした施策の推進、国内外への戦略的プロモーション、各地域における観光資源の発掘・磨き上げ・交流機会の創出

重点5

県内経済・産業の活性化

- 米国関税措置や日産自動車生産縮小等への対応、宇宙関連産業の振興、産業競争力の強化への取組、労働力不足への対応・就業支援、伝統的工芸品産業の振興、持続可能な農林水産業の実現

重点6

脱炭素社会の実現に向けた取組

- 産業・業務部門の取組、家庭部門の取組、運輸部門の取組、廃棄物部門・その他ガス・吸収源対策、横断的な取組、県庁の率先実行

重点7

共生社会実現への取組および生活困窮者等への支援

- 共生社会実現への取組、生活困窮者支援の推進、DV・ストーカ一被害者など困難な問題を抱える女性等への支援

重点8

安全で安心して暮らせる神奈川の実現

- 地震災害対策等の推進（地震防災戦略等の推進）、風水害対策の推進（新たな水防災戦略の推進）、犯罪や事故などのない安全で安心なまちづくり、鳥獣被害対策の推進

重点9

県民目線のデジタル行政の推進

- くらしのデジタル化、行政のデジタル化

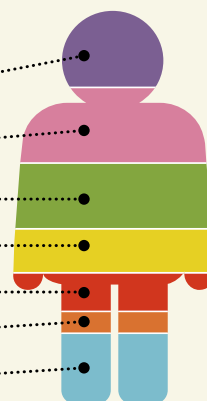
● 歳出を県民1人あたりに換算すると

1年間に257,931円の経費がかかっている計算になります。

これを目的別に見ると、次のようになります。みなさんが納めている税金が様々な目的に活用されているのです。

県民1人あたりでは257,931円(一般会計)

総務費	市町村への税交付金等	55,441 円
教育費	学校教育や生涯学習に	53,456 円
民生費	福祉や子育てに	44,039 円
衛生費	医療や衛生に	28,593 円
警察費	治安の維持に	24,975 円
土木費	まちづくりに	13,953 円
その他	その他の施策に	37,474 円

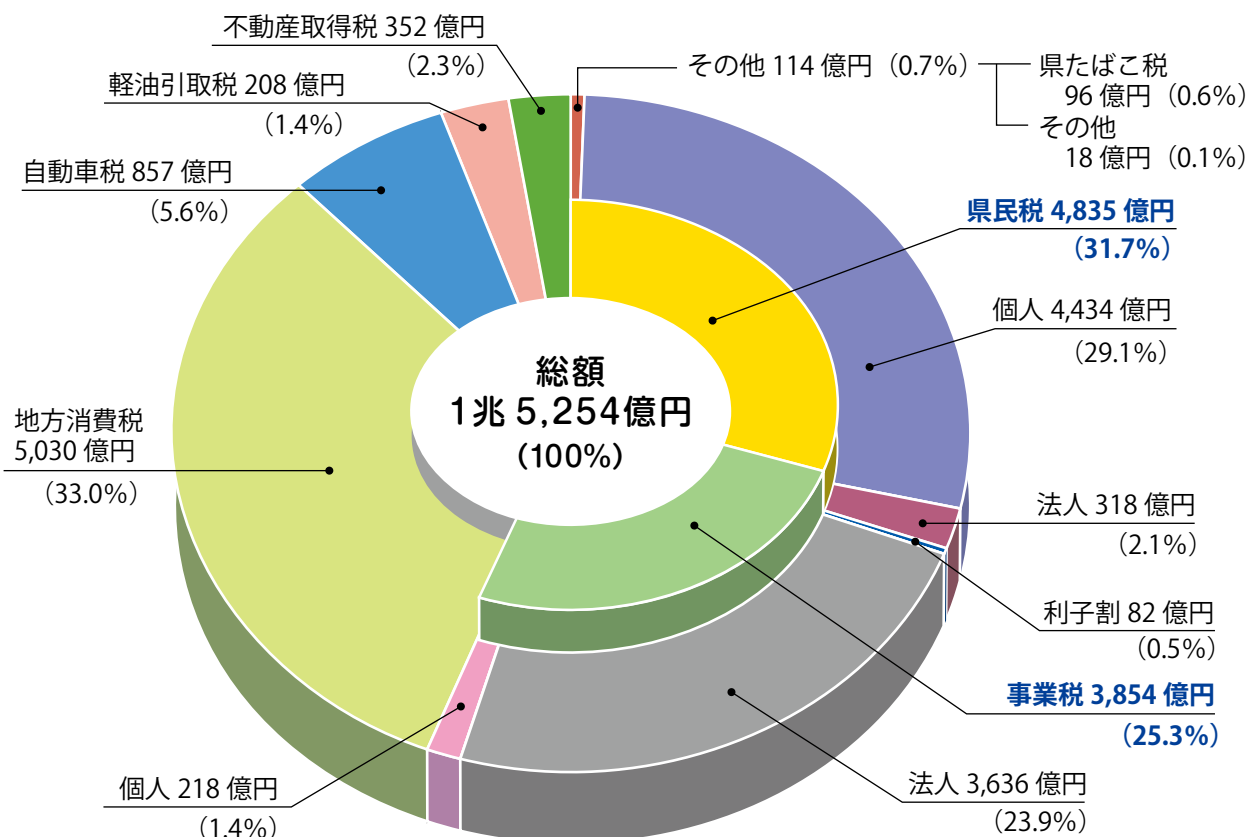


※ 県民1人当たりの算出には「神奈川県人口統計調査」の人口を用いている。

県税収入

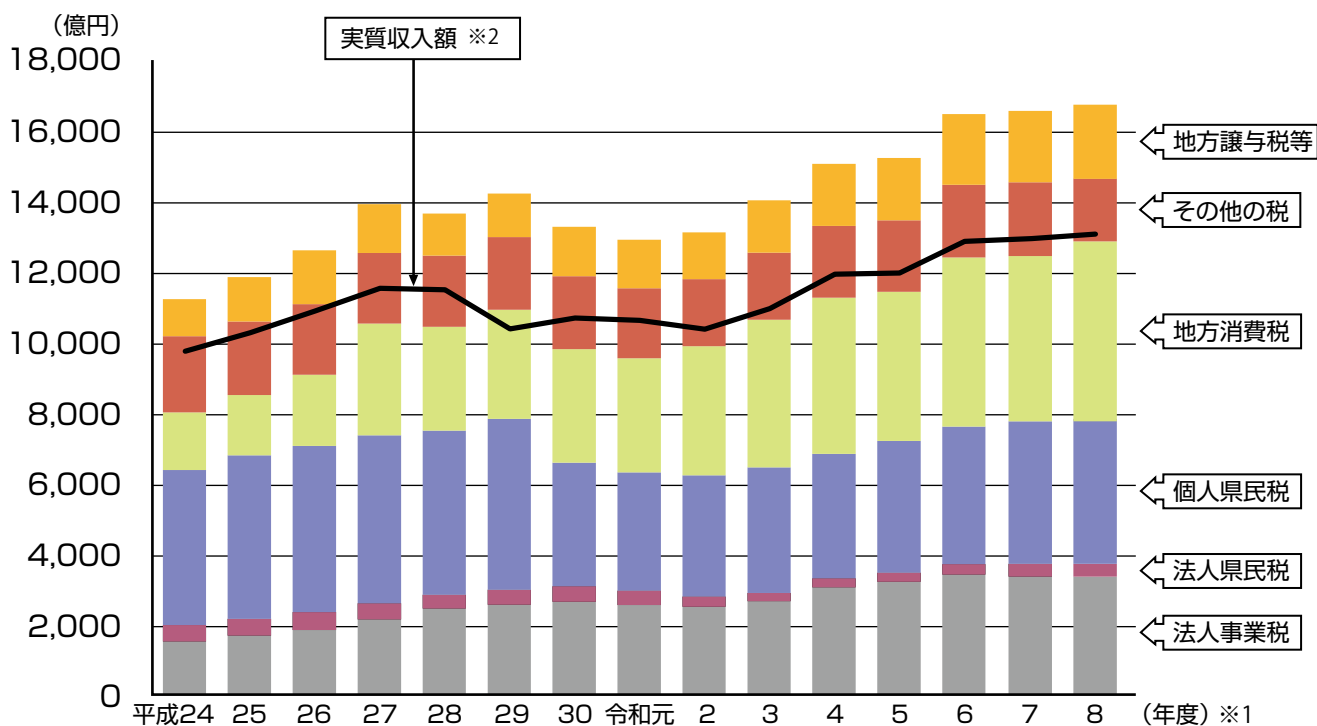
県税収入は、令和8年度で1兆5,254億円と、一般会計歳入予算の64.2%を占め、県政を支える重要な役割を担っています。

● 県税歳入予算の内訳（令和8年度当初予算）



備考 億円未満切捨てのため、総額とは一致しません。

● 県税収入額の推移



※1 令和7年度は最終予算額、8年度は当初予算額、6年度以前は決算額を示す。

※2 実質収入額とは、県税および地方譲与税等の計から市町村に交付する税交付金等を差し引いた額を示す。